



2021年6月16日

各 位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号)	5852)
問合せ先責任者	執行役員経営企画部長 成家 秀樹
(TEL)	03-6369-8664)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2021年6月16日、関東財務局に提出した2021年3月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

当社の米国連結子会社であるアーレスティウイルミントンCORP. (以下「AWC」)において、決算・財務報告プロセスにおける、各決算処理の承認手続及び網羅性を確認する手続きの整備・運用が不十分であったことなどに起因した、棚卸資産の評価漏れ、固定資産の表示科目誤り、貸借対照表科目の流動固定分類誤りを含む相当数の誤りが、監査人の監査の過程で判明いたしました。これらの誤りを社内の決算・財務報告プロセスにおいて発見できなかったことについて、財務報告に与える影響が大きく重要性が高いと判断し、開示すべき重要な不備として認識いたしました。

#### 2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記については、当事業年度の末日後の決算作業中に発見されたものであるため、当事業年度の末日までには是正が完了しておりません。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

上記不備の主な発生原因は、AWCにおいて経理担当マネージャーの退職を含む経理担当人員の大幅な変更等により業務の引継ぎ及び教育が不十分であった点や適切な業務手順・決算マニュアル等が十分に運用されていなかった点にあると認識しております。

当社は、上記内部統制の重要な不備を速やかに是正するため、リスクを網羅的に把握して業務手順・決算マニュアル等を適時に更新するとともに、各プロセス担当者・経理担当者が当該手順・マニュアル等を十分に理解し業務としての浸透を図るべく本社主導での研修を実施し、業務及び決算に係る統制が十分に機能する体制を早急に整備します。また、内部統制の運用に係る実効性を確保するため、人員体制の充実を図るとともに業務分担を明確化して仕訳の承認統制を強化することで仕訳の正確性を維持向上し、現地マネジメントや本社経理部門が定期的実施する財務数値の増減分析・推移分析における分析基準値を下げることでより分析精度を高めます。また、これらの対応が十分に効果を発揮するまでの期間、本社経理部門から人的支援を含む決算体制のサポートを行います。

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、以下の再発防止策を講じて、決算プロセスに係る内部統制を強化し、財務報告の信頼性を確保していく方針であります。

- (1) 作業手順書、決算チェックリストの充実による決算作業の属人化の防止
- (2) 決算手続き時における業務フローの強化
- (3) 経理人材の確保と育成

4. 連結財務諸表等を与える影響

上記の開示すべき重要な不備に関連する取引については、再検証を行い、その結果必要と認められた修正は、適正反映しているため、当連結会計年度の連結財務諸表等を与える影響はありません。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上